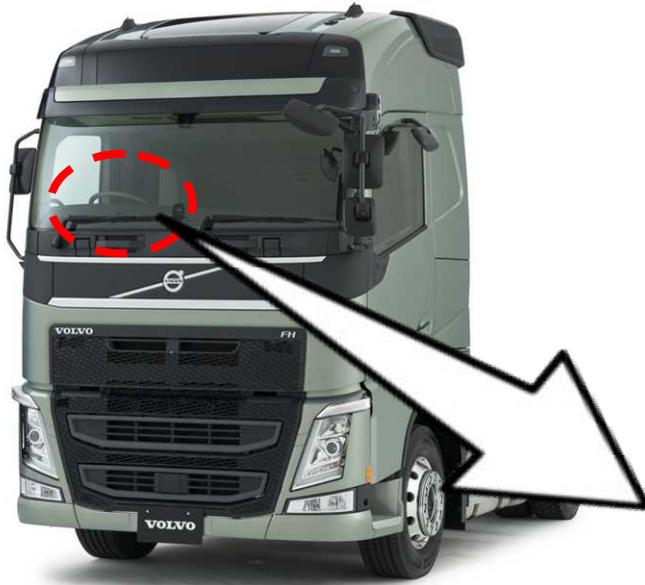


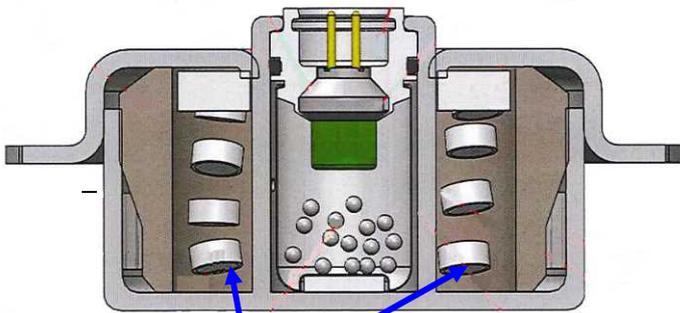
改善箇所説明図



エアバッグアッセンブリ



インフレーター



ガス発生剤

不具合発生箇所

運転者席側エアバッグのインフレーター(膨張装置)において、高温多湿の環境下での長期使用によりガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター内圧が異常上昇して、インフレーター容器が破損するおそれがある。

改善措置の内容

全車両、予防的措置として運転者席側エアバッグアッセンブリを対策品と交換する。

注: 内は交換する部品を示す。

識別: 作業完了車には、車名型式名板の車台番号横に黄色または白色ペイントを塗布する。